

### 給湯管の保温不良

年度	1996年完成(2009年調査)
場所	東京都世田谷区
構造	木造在来軸組工法
階数	3階
延べ面積	109 m <sup>2</sup>
用途	一戸建ての住宅

#### 瑕疵の特徴

給湯配管接合部での保温処理が無い。  
公庫仕様書 13.3.4(保温措置)に反する。



#### 解説

給湯配管接合部での保温処理が無い。保温がないことにより熱の損失が起こる。(給湯中)給湯待機中に配管内の水温が下ると、配管外側に結露し、配管の腐食が起こる。また、結露水は周囲の建築材料を濡らし、汚損し腐朽させる。